

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

- このドアクローザは、室内側に取付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 各種取付けねじは、必ず締付けてください。締付けがゆるいと落下・故障の原因になります。(締付けトルクは、200N・cm以上)
- 各種取付けねじは、付属のねじで所定個所に使用してください。
- 固着剤付きのねじは、2度締め、水に触れたものは使用しないでください。
- 各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。

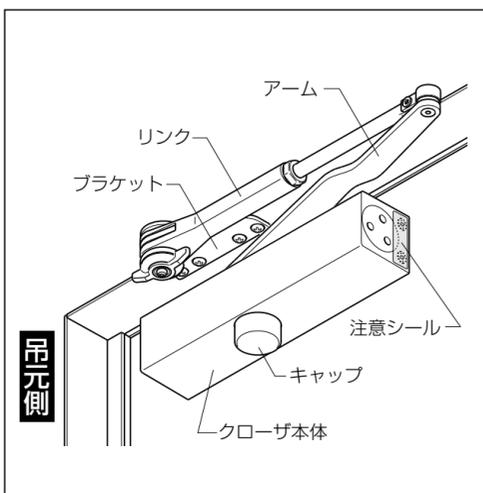
■部品一覧表

本体	アーム	本体ブラケット	ブラケットリンク
キャップ	アーム止めねじ	スパナ	注意シール
	(2本)		

■ねじ一覧表

記号	①	②	③
姿			
入数	4	4	2

■各部名称



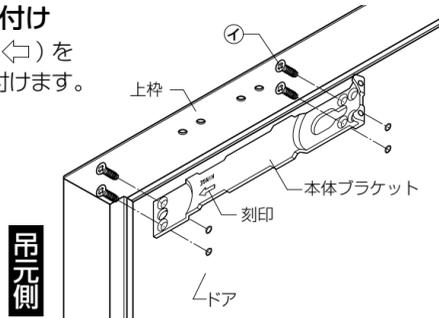
■取付け順序

1 本体ブラケットの取付け

- 本体ブラケットの刻印(◁)を吊元側に向け、ドアに取付けます。

■本体ブラケット止めねじ

- ①皿小ねじM5×12 (固着剤付き)



▲注意

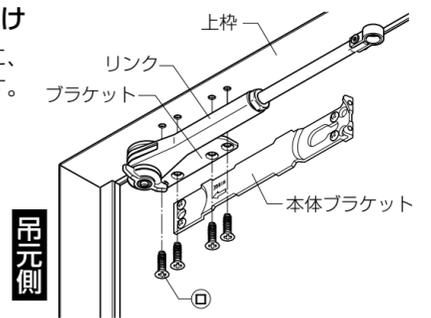
- 本体ブラケット止めねじは必ず締付けてください。本体ブラケット止めねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

2 ブラケットの取付け

- ブラケットを上枠に、しっかりと取付けます。

■ブラケット止めねじ

- ②皿小ねじM5×16 (固着剤付き)

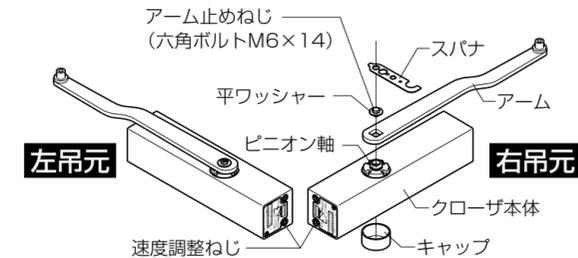


▲注意

- ブラケット止めねじは必ず締付けてください。ブラケット止めねじの締付けがゆるいと、ブラケットリンクがぐらつき落下・故障の原因になります。

3 アームの取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②ピニオン軸にアームを下図の向きではめ、アーム止めねじを、しっかりと締付けます。
- ③キャップを下から「パチッ」とはめます。

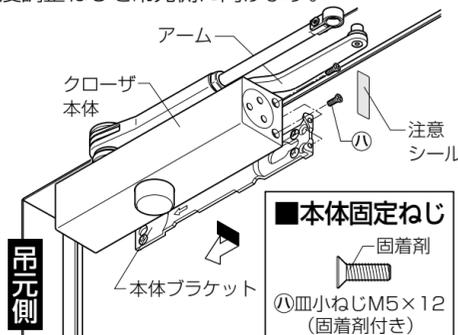


4 クローザ本体の取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②クローザ本体を右図のようにスライドさせて、本体ブラケットにはめ合わせます。
- ③戸先側から、しっかりと固定します。
- ④注意シールをねじの上から張付けしてください。

■本体固定ねじ

- ①皿小ねじM5×12 (固着剤付き)

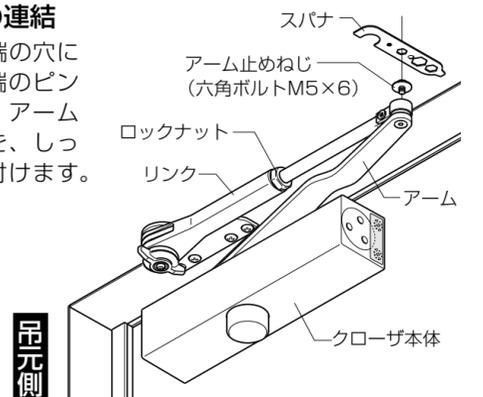


▲注意

- 本体固定ねじは必ず締付けてください。本体固定ねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

5 アームの連結

- リンク先端の穴にアーム先端のピンを差込み、アーム止めねじを、しっかりと締付けます。



▲注意

- ロックナットは付属のスパナで必ず締付けてください。
- アーム止めねじは必ず締付けてください。アーム止めねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

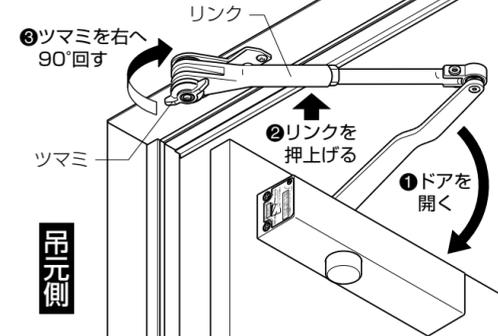
■ストップ装置の設定

1 ストップ角度の設定

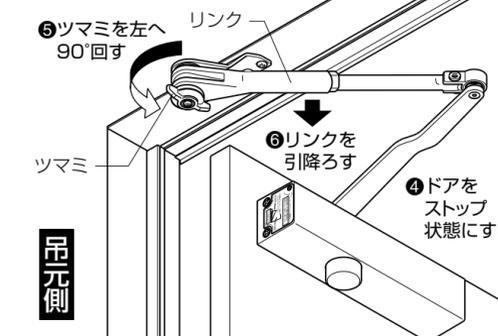
- ①ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
- ②開いた位置でリンクの▲部を押上げてください。リンクが押上らない場合は、ドアを前後にゆすりながら押上げてください。
- ③ツマミを必ず右へ90°回してください。ツマミが90°回らない場合は、ドアを前後にゆすりながらやり直して、必ずツマミを右に90°回すようにしてください。

お願い
※ツマミは必ず右へ90°カチッと音がするまで回してください。右に90°回さないでストップ装置の故障の原因になります。

<ストップ角度の設定>



<ストップ角度を変更する場合>



2 ストップ角度を変更(再設定)する場合

- ④ドアを開きストップ状態にしてください。
 - ⑤ツマミを左へ90°回してください。
 - ⑥リンクの▼部をいっばいに引降ろすとストップ機能が解除され設定前の状態に戻ります。
- ※リンクが引降ろしにくい場合はドアを開く方向に押しながら、リンクを引降ろしてください。
- ⑦再度手順①～③にしたがってストップ角度の設定を行ってください。

■ドア(扉)閉じ速度の調整

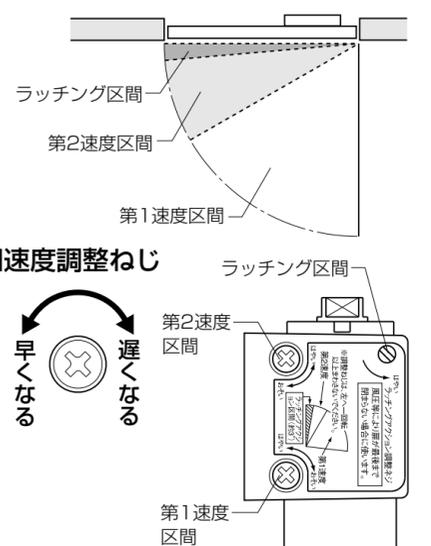
1 閉じ速度の調整

- ①閉じ速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
- ②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。

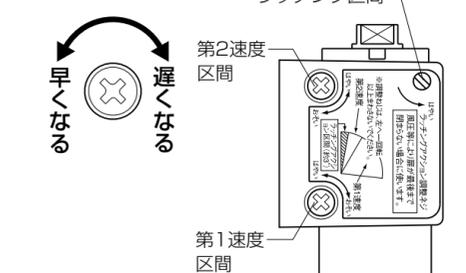
お願い
※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
※調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなるおそれがあります。

2 ラッチングアクションの調整

- ※ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前(約3°)まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
- 調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。



■速度調整ねじ



▲注意

- 各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。